



第24回日本糖尿病教育・看護学会学術集会 ランチョンセミナー1-1

1 型糖尿病 —最近の話題と今後の展望—

2019年9月21日(土)12:10～13:10 第1会場(幕張メッセ国際会議場 コンベンションホールB)

座長

弘前学院大学 看護学部 看護学科長 成人看護学

教授

土屋 陽子 先生

演者

埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科

教授

島田 朗 先生

※本セミナーは整理券制です。

5月15日より学術集会ホームページにて事前登録を受付いたします。

詳しくは学術集会ホームページをご参照ください。

<https://www.jaden24.jp/index.html>

1 型糖尿病 –最近の話題と今後の展望–

埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科
教授 島田 朗 先生

1 型糖尿病の最近の話題として、第一に挙げるべきは、やはり、抗がん剤として使用されるようになった、抗PD-1抗体関連の1 型糖尿病の発症の問題であろう。2015年から、海外にて報告されて以来、わが国においても報告が相次いでおり、日本糖尿病学会からも注意喚起がなされている。

また、1 型糖尿病の診断に重要な、抗GAD抗体の測定法が、旧来のRIA法からEIA法に変更となり、特に緩徐進行1 型糖尿病において、両測定法間での結果の乖離がある場合が見受けられ、臨床現場で混乱をきたしている。さらに、小児など若年発症の1 型糖尿病の診断に重要な抗IA-2抗体についても、測定法が変更となり、それらの取扱いについて、日本糖尿病学会の1 型糖尿病調査委員会からrecommendationが出ている。

一方、治療については、海外において、closed loopによるインスリンポンプがいよいよ臨床現場に登場する見通しであり、1 型糖尿病患者さんにとって朗報である。また、持続血糖モニターについても、複数社から発売されており、今後、これらをどう診療に活かしていくのか、議論が盛んである。

明日からの皆さまの日常臨床に役立つ話題を提供できれば幸いである。

自己検査用グルコース測定器

GLUCOCARD

PlusCare

グルコカード プラスケア

GT-1840

医療機器 承認番号 229AABZX00030000

分類 クラスIII (高度管理医療機器)

特定保守管理医療機器

変わらない簡単操作

見やすい画面表示を追求

音声で測定操作をアシスト



単回使用自動ランセット

naturalet
petit

ナチュラレット プチ

医療機器 認証番号 228AFBZX00013000

分類 クラスII (管理医療機器)

2ステップのかんたん操作

穿刺器具の先端が筒状になっているので、
穿刺がしやすい設計です。

